

V 戦士

徳島県バレーボール協会中学校専門部 秋季 52号

昭和から平成・令和へ

高橋 利明

～その1 登録料・参加料～

昭和60年(1985年)3月, 大学を卒業し, 臨時教員となり, T中学校剣道部顧問。翌年, K中学校女子バレー部(副)顧問。昭和62年4月新任教員としてN中学校女子バレー部顧問。昭和63年4月から徳島県バレーボール協会理事, 平成5年常務理事(中学校専門部副専門部長・事務局)となり, それから30年以上が経ちました。

私もそろそろ教員生活も終わりに近づいてきたということもあり, 勝手ながらバレーボールの思い出を「V戦士」に書き残そうと思います。どうか, ご容赦ください。

今回は, 『登録料・参加料』について語ることにします。

臨時教員として赴任した中学校には男女バレー部はありましたが, 4月20日からの辞令だったこともあり, 剣道部の顧問となりました。それでも, バレーボールの試合に行くと恩師の指示の下, 試合の審判などの手伝いを行っていました。

大会初日は, 顧問の先生がステージ上に集まり, 登録料・参加料(当時, 登録料1500円 参加料3500円)を支払っていました。その受付は忙しく大変でした。受付をする先生方は毎回のように「登録料・参加料の支払い方法をどうにかして欲しい」「誰かが必ずお金の管理をしなければならない。ここ(ステージや役員控え室)でいなければならないのでトイレにもなかなか行けない」とぼやいていました。

平成5年夏休み様々な課題を解決するために, 私は銀行へ先に振り込んでもらうことを考え, 提案しました。この方法について中学校専門部の先生から賛同をいただくと確信していましたが, 「当日支払いの方が楽だ」「わざわざ, 銀行にまで行かなくてはならないのか」などと反対されました。それでも, 「このやり方がいい。」と考えを変えることはありませんでした。徳島県バレーボール協会常務理事会(以下「常務理事会」という)でこのことについて提案しました。すると, 同じように反対する方もいましたが(当時)生田豊会長, 岩野匡美理事長から賛成をいただきました。特に, 理事長からは「郵便局の振替にすると手数料も安く, 郵便局は(銀行に比べて)どこにでもある」という進言をいただきました。私はこれでうまくいくという想いになりました。

ところが、「参加料を支払うお金はあるが、振込手数料を払うお金は誰が払うのか。学校にはそのようなものはない。」「手続きを行ったが、振替ができない。」という意見をたくさんいただきました。困り果て私は、理事長に相談すると、「青い用紙ではなく、赤い用紙で振り込んでもらうようにするとこちら側（県協会）が手数料を負担することになる。それにしなさい。」と助言をいただきました。しかし、どの郵便局に行っても赤い用紙の郵便振替用紙がありません。調べてみると、振替口座というものを設けなければならなかったのです。「徳島県バレーボール協会」という郵便貯金の通帳をつくれればそれでよいという無知からの失敗でした。私は、徳島市南前川町にある郵便貯金事務センターに行き、口座開設の方法を聞き、その後に各種書類を提出しました。そして、審査を受けようやく、振替口座開設が認められました。開設のために数日間を費やした結果、直前の県中新人大会において、当日集金という形になりましたが、次の大会からはスムーズに支払いを事前に行っていただけのようになりました。（また、郵便振替の領収証は学校で通らなかったという意見もあり、領収証は従来通り発行することにしました）

現在は、武井和夫先生（現・三好市立井川中学校教頭）の提案で4月当初に行われる中学校専門部の全体会で、県中選手権大会の申込・参加料、県協会の登録用紙・登録料の提出をするようにし、同時にそれ以降の大会参加料を支払うための郵便振替用紙を配布するようになりました。

平成19年（2007年）になると、登録料において大きな変革が起きました。それは、日本バレーボール協会へチーム登録・個人登録（以下「MRS」という）を行うことです。それまでの登録は、徳島県バレーボール協会への登録（紙媒体）のみでした。当時は、県協会の登録用紙への記入も誤った書き方をしたものが多く、その都度中学校へ郵送し訂正するということがありました。（実はこの事務が完了するためにほぼ1年近くかかることもありました）

その前年において、日本バレーボール協会から説明を受けた各都道府県協会担当者がカテゴリ別に登録を承認する担当者を決めなければなりませんでした。立石房徳先生（当時、県中学校専門部長、現・吉野川市立川島中学校長）から2人で中学校カテゴリの登録承認担当者となり、立石先生は中学校とヤングクラブ、私は中学校とU-14男子のカテゴリの承認担当することになりました。（U-14男子、ヤングクラブについては別の機会でお話します）

日本バレーボール協会は、中学校へのチーム登録料は特に徴収せず、個人登録料として1人500円（1人3カテゴリまで登録できる）としました。当時、県外への練習試合に行ってもMRSのことが話題になっていました。各都道府県ともこのことについてまちまちな対応でした。最終的に私が下した結論は、全てのチームに、全ての選手にMRSに登録してもらうことでした。しかし、「大会2日前に登録しておかないと試合に出場できない」という規定がありました。しかし、初めてのこともあり、登録方法も面倒で、試合前の期日に登録が間に合わないという問い合わせでした。困った私は、日本バレーボール協会に問い合わせをしましたが、納得いくような返答ではありませんでした。試合間近になって、5月中に登録を済ませておけばよいという連絡がありました。きっと、他県から

も同じような問い合わせがあったのではないかと思いました。最終的にはほぼ全チームに登録していただくことができました。これは他の都道府県にはない登録の割合でした。

現在、MRSも以前と比べて登録しやすくなり、登録もしていただき、ありがたく思っています。